

扇小レポート 855 困ったら

保健室の廊下に、貼ってありました。「保健ニュース」です。
「困ったときは助けてもらう」ことが、成長につながるようです。
人をお願いすることは、とてもいいことなのです。

少年写真新聞
Juniors' Visual Journal
https://www.schoolpress.co.jp/

小学保健ニュース

No.1428
7月8日号

心の成長 シリーズ① 困ったときは助けてもらおう

お願いをするときは、タイミング・理由・どのように助けてほしいのか、の流れで伝えよう



① 今ちょっとだいじょうぶ？
② この箱を図工室に持っていきたいんだけど、重くて一人じゃ運べないんだ
③ いっしょに運んでくれない？

一人じゃたいへんだったから助かったよ！
ありがとう！



「お願いする」気持ちが相手に伝わるように伝える

相手の立場を考えず、自己中心的な態度でたのんではいけません。

困っていることだけいっていることにはなりません。

相手の都合で断られることもあります

ごめん、号教室に呼ばれてるんだ
それか、ありがとう

じゃあその後にお願いしてもいい？
それならいいよ！

おこったり、落ちこんだりせずに、話を聞いてくれたことに感謝しましょう。

そして、ほかの事を出したり、別の人にもたのんできてもよいでしょう。

人にお断りすることはよくないと
思っていたり、相手に断られた経験が
あったりすると、助けを求めることに
苦手意識を持ってしまいます。

でも、だれかに助けてもらうことは
決して悪いことではなく、お願いする
タイミングや、話し方をくふうすれば、
上手に気持ちを伝えられます。

お願いを受け入れてくれたときも、
断られたときも、感謝を伝えて、また、
自分がだれかにたのまれたときにも、
助けてあげられるとよいでしょう。

まず、相手のタイミングを確かめて、お願いしたい理由や状況などを短く話してから、お願いしたい内容を具体的に言うと、助けてほしい気持ちが伝わります。

勉強でも、分からなかったら友達に聞きますよね。